

シティプロモーション動画等制作業務について

1 概要

瑞浪市の魅力、特徴、地域資源を発信し、本市のイメージ、知名度の向上やシビックプライドを醸成することを目的としたシティプロモーション動画（以下「PR動画」という。）を制作します。

制作するPR動画の内容は、未来の瑞浪ファンを創出するため、将来を担う若い世代が特に関心が湧くものとし、親しみやすく共感を抱き、印象に残る映像を目指します。

なお、PR動画の原案については、市内の若年層（通勤・通学者含む）を中心とした参加型ワークショップを実施の上決定しました。

2 PR動画制作会社

株式会社パシフィックボイス 代表取締役 別所 哲也

所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSU ビル 2F

3 事業スケジュール

ワークショップ実施	令和4年9月10日(土)、9月25日(日)、10月8日(土)
動画原案決定	令和4年10月8日(土)
監督、スタッフによる脚本制作	令和4年10月末
出演者キャスティング・ロケハン	令和4年11月中旬
撮影	令和5年1月上旬
編集～仕上げ	令和5年3月上旬

4 制作したPR動画について

動画の制作予定本数

PR動画本編1本に加え、その予告編（30秒程度）を1本、ワークショップの模様を収めたメイキング動画の3本を制作しました。

5 経過について

全3回の瑞浪市民を中心としたワークショップにて、PR動画のストーリー原案を一緒になって作っていきました。

第1回目のワークショップでは、市内に在住、通勤、通学する若者（15歳～40歳）23名（うち地元の高校生が11名参加）の参加者が5グループに分かれ、グループ毎の代表となる原案を決定しました。

第2回では、各グループの代表案をグループ内で再考したものを発表し、参加者全員の投票で、5つの原案から3つに絞り込みました。

第3回では、その3つの案から最終案の1つを瑞浪市長のほか、パシフィックボイス株式会社

(動画制作委託事業者) 代表取締役 別所 哲也(べっしょ てつや)氏、動画監督 日座 裕介(ひざ ゆうすけ)氏、ワークショップ講師である作家の田丸 雅智(たまる まさとも)氏もオンラインで同席したうえで、参加者が動画の原案(3案)をその場で発表(朗読)し、市長、別所氏、日座監督、田丸氏を含む参加者全員による決戦投票で、1案を動画の原案として決定しました。

決定した1案は、「ミュージカル化石博物館」と題した、瑞浪市化石博物館を舞台として、女子高生とパレオパラドキシア(化石)が出会い、ミュージカルに発展するといった内容のストーリー原案となりました。このストーリー原案をもとに日座監督がインスピレーションを受け、動画の脚本を作成し、映像化していきます。

第1回目ワークショップ



9月10日(土)には、第1回目となるワークショップを瑞浪市にて実施し、市内に在学する高校生や、一般の市民の方、市の職員など合計23名が5つのグループに分かれて参加いただきました。

ワークショップのテーマは「(瑞浪の)化石」に設定し、アイスブレイクを兼ねて参加者の方から化石にまつわるエピソードを披露していただいたところ、今年市内で6月に発見されて話題となった「パレオパラドキシアの化石」を、「あれ、うちの親と近所の方が発見したんです」という驚愕エピソードも飛び出しました！



5つのグループで楽しみながら、話し合い、5つのグループとしての代表作が生まれました！
次回は、今回生まれた5つの代表作をブラッシュアップし、研ぎ澄まさせていただきます。

第2回目ワークショップ



第2回目の9月25日（日）では、ワークショップ開催に先立ち講師の田丸さんより改めて伝えられたのが、「本企画の趣旨＝（瑞浪市の）プロモーション映像の原案を生み出す」という視点で見つめ直すこと。

早速第1回目と同じグループに分かれ、各自自分たちのグループ案を再考すべく意見交換を交わし、ブラッシュアップして発表へと繋げていきました。



投票の結果、現時点での1位～3位が決定！

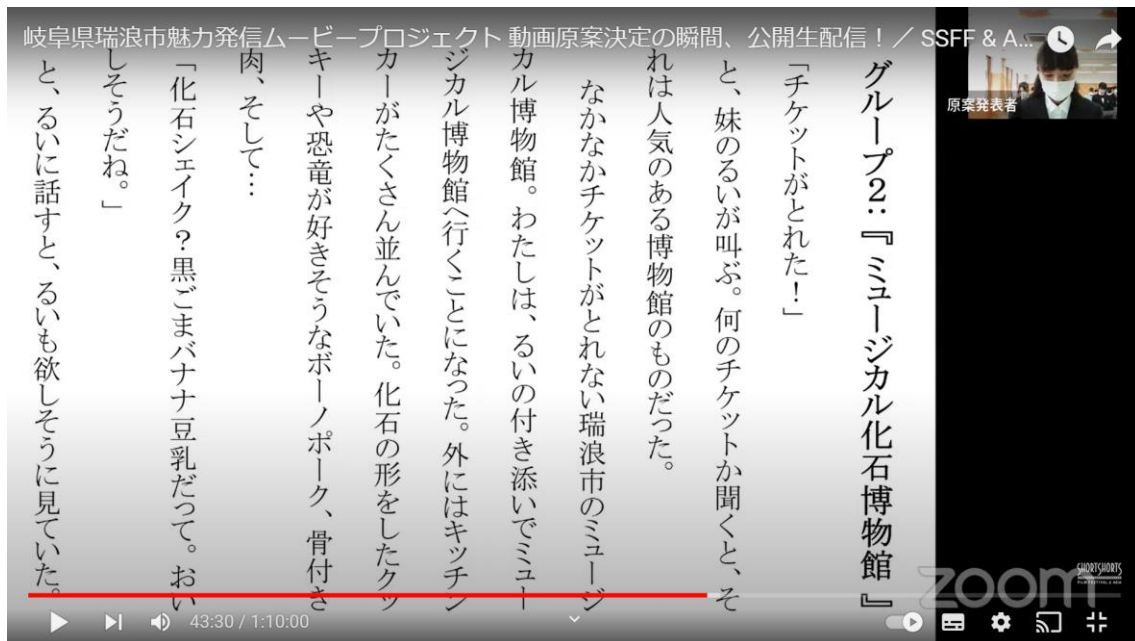
選ばれた3作品は会場全体から拍手を受けつつ、選ばれなかった他のグループからトップ3の案の更なるブラッシュアップを図るための意見を伺いました。

第3回目ワークショップ



10月8日（土）に3回目のワークショップを実施しました。

今回は、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2022 秋の国際短編映画祭」のイベントの一つとして、前回参加者全員の投票で選ばれたトップ3案の中から、遂に動画の原案となるショートショート（短くて不思議な物語）を決定・発表する模様を公開生配信しました。



トップ3案である『カメラの化石』『ミュージカル化石博物館』『二十歳のお祝い』の3作品は、執筆した3グループの各代表者による朗読という形で発表され、参加者による投票の集計の結果を、皆固唾を飲んで見守りました。



いよいよ集計が終わり、水野市長より

「シティプロモーション動画のストーリー原案は、『ミュージカル化石博物館』に決定致しました！」という結果発表がされると、現地に集まっていた瑞浪市縁の方々からも拍手が巻き起こりました。原案を発表されたグループの代表者からは「化石たちがどういう形でミュージカルをしたり、会話をしたりするのか、想像することは難しくもあったが、(物語を生む) 新たな発見という創造は楽しかった」と喜びの声をいただきました。

原案に選ばれた『ミュージカル化石博物館』を元に、脚本「奇跡の化石」が映像監督により制作され、撮影も瑞浪市民、学生など多くの参加をいただき、完成いたしました。

<参加者>

市民や高校生など約50名程度。

<ストーリー>

都会から瑞浪に引っ越してきたばかりの女子高生の釜戸るいは、都会の生活を諦めきれず、いつもスマホばかり見ていて、SNSで毒づく毎日。

登校中スマホを見ながら川沿いを歩いていると、何かにぶつかり土手を転げ落ちるるい。頭に絆創膏、壊れたメガネをテープで止めて化石博物館の课外授業に出るが、やっぱりスマホばかり見てつまらなそうにしている。

帰り道、スマホを博物館に忘れたことに気づき取りに行った際、ひよんなことからクリーニング中の化石「パレオパラドキシア」の全身骨格を見つける。

そこからるいは、とても不思議な体験をする。

<出演俳優>

釜戸るい（17歳）…都会育ちの女子高生

戸畑 心さん

パレオパラドキシア（1,200万歳!?!）…謎の奇獣の化石

池田 成志さん

